

第 29 回経営協議会議事録

I 日 時 平成 21 年 3 月 23 日 (月) 15 : 00~16:30

II 会 場 附属学校教育局「第一会議室」

III 出席者〔学外委員〕

秋元勇巳、飯野正子、石田瑞穂、大崎仁、大竹美喜、古賀正一、小平桂一、柴崎信三、
西野虎之介

〔学内委員〕

岩崎洋一、工藤典雄、腰塚武志、田中敏、波多野澄雄、吉武博通、谷川彰英、山田信博、
水林博、植松貞夫

IV 議 題

- 1 平成 21 年度年度計画について ----- [資料 1]
- 2 平成 21 年度余裕金の運用について ----- [資料 2]
- 3 平成 20 年度余裕金の運用結果について ----- [資料 3]
- 4 平成 21 事業年度における長期借入金の償還について ----- [資料 4]
- 5 教育研究評議会報告 ----- [資料 5]
- 6 平成 21 年度役員等就任予定者について ----- [資料 6]
- 7 第二期中期目標・計画について ----- [資料 7]
- 8 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について ----- [追加資料]

〔その他〕

- 9 「筑波大学の将来像の構想に向けて」について ----- [席上配付資料]

V 議 事

- 1 平成 21 年度年度計画について
吉武理事から、資料 1 に基づき、平成 21 年度年度計画の概要について説明があり、審議の結果、
原案どおり承認された。
- 2 平成 21 年度余裕金の運用について
田中理事から、資料 2 に基づき、平成 21 年度余裕金の運用方針及び運用計画について説明があ
り、審議の結果、原案どおり承認された。
委員から、運用益の使途について質疑があり、田中理事から、運営費交付金からの支出が難し
い、学生への経済支援等に充当していきたい旨の説明があった。
- 3 平成 20 年度余裕金の運用結果について
田中理事から、資料 3 に基づき、平成 20 年度の余裕金の運用結果について報告があった。
- 4 平成 21 事業年度における長期借入金の償還について
田中理事から、資料 4 に基づき、平成 21 事業年度における長期借入金の償還計画等について報
告があった。
- 5 教育研究評議会報告
吉武理事から、資料 5 に基づき、前回の本会議以降に開催された、教育研究評議会の議事の概
要について報告があった。

6 平成 21 年度役員等就任予定者について

山田理事(次期学長予定者)から、資料 6 に基づき、平成 21 年度の役員等就任予定者について報告があった。

7 第二期中期目標・計画について

山田理事(次期学長予定者)から、資料 7 に基づき、第二期中期目標・計画の第一次案の概要について報告があった。

各委員からの主な発言等は以下のとおり。(以下、○は委員の発言、△は本学側の回答)

○ 本学の特色が容易に把握できるような目標設定、項目設定に努める必要がある。また、本学の強みを強調して記載すべきであり、その際には、部局の施策等を記載して具体性を持たせることも必要なのではないか。

△ 筑波スタンダードの充実、学士課程・大学院教育の実質化、研究教育に集中できる組織体制の実現、国際化等の重要項目について、学内の意見集約を図るとともに、具体性のある計画を示せるようにしていきたい。

○ 学際性、国際性という面だけでの「開かれた大学」ではなく、地域や社会に対しても「開かれた大学」を目指してほしい。

△ 地域や社会に対して開かれているのはもちろん、教職員及び学生があらゆる面で開かれた精神をもっている大学にしていきたいと考えている。

○ 大学が生み出す「知」が社会に還元されて経済的価値を生み出し、それが教育や研究の資金として大学に戻ってくるというサイクルで捉えがちだが、学問の本体はむしろ社会や企業の現場の知にある。大学は、これまで以上に社会から学ぶという意識を持つことが大切である。

△ 大学は「知」の拠点であるが、「知」は循環する双方向性を有するものだということを常に意識している。

○ 日本に来た外国人学生には、学位取得後可能であれば日本に留まり就職したいと考えている学生が多い。日本に一定期間留まりその後帰国する「留学生」ではなく、「国際学生」に対する世界的な教育の一端を担っているというスタンスで対応する必要がある。

○ 単にメディアに対して本学の情報を発信するだけでなく、社会とのコラボレーションの中で本学の付加価値を高めていくという観点から、広報業務の更なる充実に努めてほしい。

○ 本学が中心となり研究学園都市の諸機関の集積効果を高めていくための具体的計画を示せるよう検討してほしい。

△ 研究学園都市の諸機関との連携をより大きく緊密にさせていくことが本学をさらに発展させることになると考えている。

8 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について

吉武理事から、追加資料に基づき、中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果(原案)の概要について報告があった。

9 「筑波大学の将来像の構想に向けて」について

学長から、席上配付に基づき、「筑波大学の将来像の構想に向けて」をとりまとめた趣旨、及び概要について報告があった。

議事終了後、本年 3 月 31 日をもって委員を辞任する小平委員から、辞任に当たっての挨拶があった。

次いで、学長から、在任 5 年間を総括するとともに、経営協議会委員の協力に対する謝意が表された。

以上